

おやま 市議会だより



第294号

●主な内容

平成30年度全特別会計決算を認定 議会改革推進協議会を設置

議案とその内容……………	②	委員会報告……………	④～⑥
人事案件……………	②	市政一般質問……………	⑦～⑩
議会改革推進協議会を設置…	②	議会日誌等……………	⑩
審議結果……………	③	次回定例会の予定……………	⑩

令和元年11月1日号



渡良瀬遊水地ヨシ灯り（撮影：写真クラブ「きらら」会長 大島 玲子 氏）



小山市議会

編集 議会広報委員会

9月

定例会のあらまし

令和元年9月2日～9月27日

主な議案

令和元年第4回(9月)定例会は、9月2日～9月27日まで26日間の会期で開かれました。本定例会では、令和元年度一般会計補正予算案をはじめ、平成30年度全会計決算の認定案、条例の一部改正案および人事案件などについて審議しました。

9月2日、市長から市政一般および近況について報告がありました。続いて議案30件、報告5件が上程され、提案理由の説明を受けた後、人事案2件および専決処分承認案1件を即決しました。

9月4日～6日および9日は、3会派および10人の議員が市政に対して一般質問を行いました。

9日は、上程議案に対する質疑の後、各委員会への付託を行い、さらに、追加議案1件が上程され、提案理由の説明を受けた後、委員会への付託を行いました。これを受けて、9月11日～13日および17日、18日に各委員会がそれぞれ開かれ、審査を行いました。

9月27日には、各委員長報告が行われ、審議の結果、議案27件を可決・認定、1件を継続審査としました。さらに、追加議案の補正予算案および人事案2件が上程され、提案理由の説明を受けた後、即決し、定例会を閉会しました。

9月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆令和元年度小山市一般会計補正予算(第1号)
—歳入歳出それぞれ4億4668万1千円の増額補正。小山駅周辺道路整備事業、橋梁長寿命化修繕事業、3・4・101城東線道路改良事業など。補正後の予算総額は、648億4668万1千円。

◆平成30年度小山市国民健康保険特別会計(事業勘定)ほか11特別会計決算の認定—特別会計全体で、歳入決算額

は、359億7023万8千円。予算に対する収入率は95・4%。歳出決算額は、345億6741万8千円。予算に対する執行率は91・7%。歳入歳出差引額は14億282万円。

◆渡良瀬遊水地の保全と再生及び賢明な活用に関する条例の制定について—渡良瀬遊水地の保全と再生および賢明な活用について、基本理念を定め、市ならびに市民および渡良瀬遊水地利用者の責務を明らかにし、必要な事項を定めること、渡良瀬遊水地の絶

滅危惧種を含む多くの貴重な動植物が生息・生育する自然環境を守るとともに、地域の活性化を図るもの。

人事案件

◆固定資産評価審査委員会委員の選任について
小山市大字迫間田
篠原 正巳(再任)

◆人権擁護委員候補者の推薦について
小山市大字神鳥谷
松村 博子(再任)

昭和23年11月19日生
昭和21年11月10日生
飯田 和男(再任)

昭和29年10月31日生



あいさつする酒井教育長

小山市大字鏡
長 眞由美(新任)
昭和31年9月29日生

◆教育委員会教育長の任命について
小山市西城南3丁目
酒井 一行(再任)
昭和23年7月23日生



植村会長(左)へ諮問書を手渡す福田議長(右)

◆教育委員会委員の任命について
小山市大字喜沢
荒井 友子(新任)
昭和33年5月18日生

◆議会改革推進協議会を設置
議長は諮問に応じ、行政改革および地方分権を踏まえた本市議会の改革に関する総合的事項を協議・推進するため議長を除く議員29名を委員とする議会改革推進協議会が9月27日に設置されました。議長により、会長に植村一議員、副会長に岡田裕議員が指名され、その後議長から、政務活動費や議員定数削減、議員報酬の適正化など13項目について諮問が行われました。

令和元年第4回定例会（9月）審議結果

議決結果

議案番号	議案名	議決結果	
予 算			
議案第53号	令和元年度小山市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第54号	令和元年度小山市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第84号	令和元年度小山市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
決 算			
議案第55号	平成30年度小山市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	全会一致
議案第56号	平成30年度小山市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	原案認定	賛成多数
議案第57号	平成30年度小山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	賛成多数
議案第58号	平成30年度小山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	賛成多数
議案第59号	平成30年度小山市病院事業債管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	賛成多数
議案第60号	平成30年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第61号	平成30年度小山市栃木県南地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第62号	平成30年度小山市与良川水系湛水防除事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第63号	平成30年度小山市農業集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第64号	平成30年度小山市小山東部第二工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第65号	平成30年度小山市テクノパーク小山南部造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第66号	平成30年度小山市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第67号	平成30年度小山市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第68号	平成30年度小山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決 及び認定	全会一致
条 例			
議案第69号	消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例について	原案可決	全会一致
議案第70号	小山市税条例等の一部改正について	原案可決	賛成多数
議案第71号	小山市印鑑条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第72号	小山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第73号	小山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の全部改正について	原案可決	全会一致
議案第74号	小山市医療費助成に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第75号	小山市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第76号	小山市同和対策集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第77号	小山市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第78号	小山市住宅新築資金等借入償還基金条例の廃止について	原案可決	全会一致
議案第83号	渡良瀬遊水地の保全と再生及び賢明な活用に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
その他の議案			
議案第79号	建設工事請負契約の締結について	原案可決	全会一致
議案第80号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	全会一致
議案第81号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	全会一致
議案第82号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第85号	教育委員会教育長の任命について	原案同意	全会一致
議案第86号	教育委員会委員の任命について	原案同意	全会一致

賛否一覧表（起立採決）

	議決結果	賛成 反対	片山	細野	大平	平野	渡邊	渡辺	嶋田	高橋	土方	佐藤	岡田	橋本	小林	森田	苅部	植村	大木	福田	荒井	篠崎	福田	荒川	山野	大出	安藤	小川	青木	関	塚原	石島		
			照美	大樹	拓史	正敏	一郎	一男	積男	栄	美代	忠博	裕	守行	英恵	晃吉	勉	一	英憲	幸平	覚	佳之	洋一	美代子	孝	ハマ	良子	亘	美智子	良平	俊夫	政己		
決 算																																		
議案第56号	原案認定	28 : 1	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	原案認定	28 : 1	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	原案認定	28 : 1	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	原案認定	28 : 1	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条 例																																		
議案第70号	原案可決	28 : 1	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○＝賛成、×＝反対
 ※ 議長（福田 洋一）は採決に加わりません。

委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会では慎重な審査を経ていきます。委員会審査の中から、主な質疑を紹介いたします。

総務



▼消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例について

問 市民への周知方法は。

答 水道メーターの検針時期に、各家庭を訪問する機会等を活用し周知していきたいと考えています。また、消防法に関わる手数料等の改正については、総務省消防庁のホームページ等で周知が図られています。

▼小山市税条例等の一部改正について

問 新たに非課税となる単身児童扶養者の該当者数は。

答 令和元年8月末現在、未婚の児童扶養手当受給者数が134名で、そのうち、改正後に非課税となる見込みの方が82名います。また、このうち新たに非課税となる単身児童扶養者数は20名で、市税に対する影響としては、約62万円の減収となる見込みです。

▼小山市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

問 第5条の欠格事由から、成年被後見人および被保佐人が除外された理由は。

答 成年被後見人および被保佐人であることにより消防団員になる機会を奪うことなく、消防団員としてふさわしい能力の有無を的確に審査判断するという主旨の国の通達に基づき、欠格事由から成年被後見人および被保佐人の部分を削除するものです。

▼建設工事請負契約の締結について（テクノパーク小山南部調整池整備工事）

問 調整池の設計内容は。

答 地区内の流域面積が約15・5ヘクタール、地区外の流域面積が約3ヘクタール、工業団地造成後の流出係数を0・82として設計した結果、調整容量は1万8350立方メートルとなり、都市計画関係法令および栃木県開発許可等審査基準に基づき、30年に

一度の洪水に耐えられる設計となっております。

問 直近で整備した工業団地

問 直近の事例としては、小

山東部第二工業団地調整池の工事費用が1億605万6千円でした。今回整備する調整池の開発面積は、この時の約1・5倍で、さらに調整池の近くを大川排水路が通っているため、護岸工、排水構造物の他に、矢板工を施工する必要が生じることから工事費が増加しています。

▼渡良瀬遊水地の保全と再生及び賢明な活用に関する条例の制定について

問 条例制定の背景および近

隣市町との連携について問う。

答 平成31年3月以降、渡良瀬遊水地内の人工巣塔に定着したコウノトリを撮影するためドローンを用いて接近する事案が相次いで発生したこと

から、地域住民がドローン使用者に対し自粛の願いをしたところ口論になったことがありました。これをきっかけとして、渡良瀬遊水地の自然環境を守るためには遊水地を利用する方々にも節度をもって利用してもらうことが必要であると考へ、本条例を提案

しました。また、他市町との連携については、栃木市および野木町に対して説明し、一定の理解をいただいたところで

問 湿地の保全と再生および

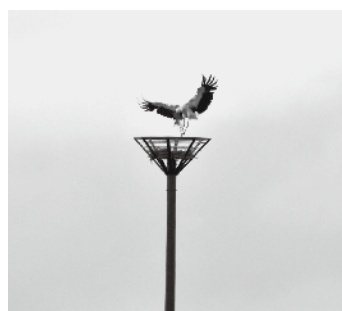
賢明な活用という基本理念を

踏まえ、多くの市民の声を取り入れ、この条例をより良いものにするために審議会等を設置することはできないか。

答 今後、本条例に関する評価・検証を行うため、審議会等を設置していきたいと考えています。

問 禁止行為における例外規定について問う。

答 例外規定については、渡良瀬遊水地は国土交通省が管理する治水施設であるため、施設管理を目的とするドローンの使用や、学術的な調査研究および災害対応を目的としたドローンの使用等を想定しています。



人工巣塔に立つコウノトリ

民生



▼平成30年度小山市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について

問 国民健康保険財政調整基金保有額は21億5千万円となっているが、適正か。

答 今年行われた国民健康保険制度改革以前は適正額の目安がありました。現在はありません。

なお、基金については、制度改革により国民健康保険の財政運営の主体が市町から都道府県に移り、市から県に事業費納付金を納めることになりました。そのため市民が納める国民健康保険税に大きな変動が生じないように運営するため、基金を活用していきたいと考えています。

▼平成30年度小山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

問 成年後見制度利用支援事業において相談件数196件に対し、申し立て件数は1件となっているが、相談内容は。答 当事業における相談内容については、大多数が申請についての助言を求めるものです。相談の結果、対象者の親

族等が申し立てを行うケースが多く、親族等がおらず、市長申し立てにつながることもあった事例が1件のみだったため、このような結果となりました。

▼平成30年度小山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

問 後期高齢者医療の保険料は原則年金からの特別徴収だが、普通徴収への切り替えは可能か。

答 原則は年金からの特別徴収ですが、本人が希望すれば口座振替による普通徴収への切り替えも可能です。

▼平成30年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 これまでは墓地の利用は公募にて募集していたが、今後は芝生墓地および合葬式墓地はどのように募集をしているのか。

答 芝生墓地については合計3221基整備しており、そのうち2961基に使用許可が出ています。また、今後701基追加予定であり、合計で3922基となる予定です。

合葬式墓地につきましては、1800体分整備済みであり、

うち795体分に使用許可が出ております。

これまでは両墓地とも公募にて募集していましたが、芝生墓地については残り少なくなってきたため、今年度から芝生墓地は有骨者のみ対象とし、公募による募集は合葬式墓地のみとなります。

▼小山市印鑑条例の一部改正について

問 今回の改正により、結婚などにより名字が変わった場合でも、これまで同様旧姓の印鑑を利用できるか。

答 政令の改正に伴い、事務処理要領も改正され、申し出により旧姓の印鑑を利用することも可能になりました。ただし、登録可能な印鑑は1つのみであるため、旧姓か現在の姓かのどちらか一方を選んで登録していただくことになります。

問 印鑑登録証明書にはどのように記載されることになるか。

答 印鑑登録証明書には、旧姓を別途記載する形になります。

▼小山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の全部改正について

問 事業者向け説明会における反応はどのようなものであったか。

答 幼稚園、保育園、認定こども園、認可外保育施設に対し担当課より説明会を行ったところ、副食費の徴収や認定手続きの集約や提出など、新たに増える事務処理に関する質問等は受けていますが、業務自体については大きな混乱や影響はないと感じています。

問 副食費の徴収方法について問う。

答 公立保育所については小山市が徴収するため、保護者からは納付書もしくは口座引き落としという形で納付していただく予定です。民間の保育園等においてはそれぞれの施設が徴収するため、徴収方法については各施設ごとに決めていただいたうえで徴収することになります。

教育経済



▼平成30年度小山市小山東部第二工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 小山東部第二工業団地の造成事業費が、平成29年度と比較して増額となった理由は、

答 平成29年度は、関係法令に関する協議や埋蔵文化財の発掘調査、遺物整理、報告書作成の業務等を実施しており、平成30年度から基盤整備事業として調整池工事、雨水管工事、道路工事、水道工事等に着手したため、平成29年度に比べ、決算額が増額となりました。

問 小山東部第二工業団地造成事業費の採算見込みは。

答 小山東部第二工業団地の全9区画のうち、申し込みのあった2社3区画について、企業誘致調査委員会を開催し、予約分譲を内定しました。来年度以降、土地売買契約の締結により土地売り払い収入が見込まれるため、最終的には事業費は相殺されるものと考えています。市が行う分譲について利益は生じませんが、

固定資産税等の税収増や雇用拡大により、市の産業振興に貢献するものと考えています。

▼小山市同和対策集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正について

問 集会所の今後の譲渡予定は。

答 14か所あった集会所のうち8か所は、自治会に譲渡、貸与、または介護予防施設な

どに転用しています。東出井集会所についても、今年譲渡予定となっており、残りの4集会所も2025年までに譲与または廃止する方向で進めています。

建設水道



▼令和元年度小山市下水道事業会計補正予算(第1号)について

問 継続費の小山水処理センター更新工事に関して、具体的な事業内容、工事期間および補正内容は。

答 事業内容については、小山水処理センター更新に係るもので、非常用発電設備、受変電設備および中央監視設備、流入管渠の耐震補強工事を令和元年度および令和2年度に実施する事業です。

補正内容は、当初予算計上後の事業費確定により、総額が7億2450万円から6億7180万円に減額となったこと、および令和元年度の補助内示が国庫補助事業費ベースで1億50万円多かつたことによる年割額の変更です。

▼平成30年度小山市農業集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 農業集落排水処理施設の長寿命化対策の方針は。

答 平成27年から30年にかけて、市内14地区の農業集落排水処理施設のうち、比較的新しい2地区を除いた12施設において機能診断を実施したところ、直ちに改修等が必要となる施設はありませんでしたが、今年度中に市内14地区全ての最適整備構想を策定し、施設・管路を含めた今後の更新に係る方針を定めていく予定です。

▼平成30年度小山市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 横倉第一雨水幹線の工事の進捗状況および完成後の検査の予定は。

答 延長2000メートルの管の県道への敷設工事については完了しており、調整池からの取り付け管も敷設が完了していたことから、先日台風15号や、雷雨の際もこれらの管が機能して、調整池から水があふれるようなことはありませんでした。

雨ヶ谷第一調整池からの取り付け管の工事は令和元年9月の予定で、完成後の検査の時期については、現在調整中です。

▼小山市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について

問 思川駅北口駅前地区地区計画の策定にあたり、地元の同意をどのように取り付けたのか。

答 地権者11名で協議会を作り、その全員から同意を得たうえで、当計画を策定しました。

問 今回の地区計画に伴う、住宅メーカー等からの問い合わせ状況は。

答 当地区は、半分を業者に販売し、建売り住宅とする計画であり、数件の問い合わせを受けています。



計画区域となる思川駅北口駅前地区

予算審査



▼令和元年度小山市一般会計補正予算(第1号)

問 債務負担行為補正の中学校外国語指導助手(ALT)配置事業について、ALTの採用方法と配置校は。

答 今回配置するALTは労働者派遣事業により5名採用し、児童生徒数が700名を超える学校へ追加配置するものです。配置校は、小山市東小学校・大谷北小学校・大谷東小学校・小山第三中学校・小山城南中学校の5校です。

問 空き家等を活用した二地域居住推進事業費の内容は。

答 全国的に社会問題化している空き家対策の一つとして、利用可能な空き家の有効活用を図るため、東京圏在住の方々に「二地域居住」の二つ目の拠点として小山市の空き家を活用していただき、関係人口の増加を目指し、移住・

定住につなげようとするものです。この事業は、国の地方創生推進交付金を活用した事業で、計画期間は3年間です。今年度は、二地域居住の二つ目把握と二つ目に沿った空き家物件の選定・改修計画の策定を行い、令和2年度・3年度は、空き家の改修と管理および業務委託によるマッチング等、物件貸し出し体制の整備を行う予定です。

問 菜の花プロジェクト推進事業の内容は。

答 この事業は令和2年4月にNPO法人「菜の花プロジェクトネットワーク」と共催で菜の花サミットを開催するものです。1日目は講演会やシンポジウム、2日目は現地視察や分科会を開催する予定です。

問 サミット開催にあたり、設置する菜の花畑の規模と設置する地域は。

答 菜の花畑は現在約6ヘクタールの栽培が行われており、

サミットに向けてさらに約10ヘクタールの栽培をお願いする予定です。栽培地域は、渡良瀬遊水地周辺、道の駅思川周辺、高橋神社周辺の絹地区を中心に農家の方へお願いしています。

問 小山駅周辺地区道路整備事業の内容と進捗状況は。

答 事業内容は、本郷町と城山町3丁目を結ぶ南北道路の建物調査を行うための委託料等および三峯地区の遊歩道整備の詳細設計に係る費用等です。南北道路の進捗については、今年度は用地買収を1件行い、令和2年度も引き続き用地買収を進める予定です。

決算審査



今回の委員会では、各部長等から主要事業等の説明を受けた後、平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定について閉会中の継続審査とすることになりました。

市政メモ

※1 二地域居住

都市住民が、農山漁村等の同一地域において中長期・定期的・反復的に滞在すること、地域社会と一定の関係をもつこと、都市の住居と異なる生活拠点を持つことを言う。第二の家を田舎に持つ「セカンドハウス型」や田舎にもう一つ仕事を持つ「二地域就労型」など多様なスタイルがある。

市政を問う

9月定例会市政一般質問

会派代表質問

(発言会派順に掲載、○印は
会派代表質問を行った議員)

市政会

渡辺 一男 植村 一
○小林 英恵 橋本 守行
嶋田 積男 細野 大樹

質問項目 ①選挙制度②県南
中核都市③商業観光行政④公
共施設⑤教育行政⑥子育て支
援施策

問 県南中核都市形成に向け
た取り組みについて伺う。

副市長 平成28年度に小山市
が中心市となり、下野市・野
木町・結城市と3市1町で小
山地区定住自立圏を形成し、
連携事業を推進しているほか、
栃木市・古河市・加須市・野
木町・板倉町との渡良瀬遊水
地保全活用協議会による広
域連携の取り組みを推進して
います。また、平成30年度か

らは、栃木市との政策連携を
強化するため、広域公営路線
バスの相互乗り入れや介護人
材確保に向けた共同研修等
を実施しており、今後も政策懇
談会を通じた広域連携を推進
し、地域の活性化や市民サー
ビスの向上を図ることさら
なる広域的な連携関係へと発
展させ、50万中核都市の実現
を目指します。

問 子どもの貧困対策事業の
進捗について伺う。

保健福祉部長 平成27年3月
に策定した『小山市子どもの
貧困撲滅5カ年計画』が今年
度で最終年度を迎えることか
ら、昨年度に子供の生活実態・
家庭の状況やニーズの把握を
目的とした生活実態調査を実
施しました。現在『第2次子
どもの貧困撲滅5カ年計画』
の策定を進めており、実態調
査結果と4年間の取り組み評
価をもとに、子どもの貧困撲
滅プロジェクト評定において、

実態調査結果を報告し、第1
次計画の事業評価および第2
次計画の骨子案について意見
の集約を行っています。今後、
子どもの貧困虐待防止対策本
部およびプロジェクト合同評
定、子ども・子育て会議に諮
りながら12月中に素案を作成
し、2月にパブリックコメン
トを実施し、3月に計画を策
定する予定です。

公明党議員会

○荒川美代子 佐藤 忠博
大平 拓史

質問項目 ①保健福祉行政②
地区防災計画

問 妊産婦の産後ケアのため
に、産後2週間健康診査を実
施すべきと思うが。

保健福祉部長 出産後間もな
い時期の産婦に対する健康診
査を行い、母体の身体的機能
の回復、母乳状況および精神
状態などを把握することが、
産後うつ等の予防や新生児への
虐待防止等の観点から重要と
指摘されており、小山市にお
いても産科等の関係機関と連
携しながら切れ目のない支援
ができるよう、産後1カ月健
康診査に加え、産後2週間健
康診査の実施を検討します。

問 防災・減災の意識向上の

ために「地区防災計画」策定
の推進が必要と思うが。

危機管理監 今後の地区防災
計画の策定については、8月
28日に防災会員の防災意識啓
発を図るための基調講演を実
施しており、今後9月、10月
に各1回避難所運営ゲームや
災害图上訓練を行い、11月
には防災マップ作成のためのま
ち歩き講習を行い、最後に
地区防災計画の検討作業を実
施する予定です。

おやま創生会

○苅部 勉 森田 晃吉
土方 美代

質問項目 ①思川西部水害対
策②市道維持管理③(仮称)
城山公園フラワーパーク整備

事業④パーソントリップ調査
の結果と将来の交通の在り方
⑤勤労青少年ホームの利用状
況と市立体育館完成後の方向
性や公共施設等マネジメント
推進計画との整合性

問 豊徳川の一級河川指定に
伴う住民説明会は何人が参加
し、どのような意見や要望が
あったのか。

建設水道部長 豊徳川流域に
おける排水強化対策の整備内
容と進捗状況等をお知らせす
るため、8月25日、日曜日の

午前10時からと、8月26日、
月曜日の午後6時から2回
に分けて説明会を開催しまし
た。

説明会の対象は、御殿
町、川西町、思水ヶ丘、立木
下、大行寺の5自治会の約
1000世帯で、出席人数は
25日が69名、26日が28名でした。
説明会では、豊徳川の整備
内容についての質問のほか、
小山・栃木排水路と立木排水
路などの事業全体について早
期整備の要望が多くありまし
た。今後も、地域の皆様に丁
寧な説明を行っていきます。

問 勤労青少年ホームの利用
状況と市立体育館完成後の方
向性、交通弱者となる地元高
齢者の利用に対する考え方は。
産業観光部長 勤労青少年ホ
ームの平成30年度の利用者数
は延べ3万4330名で、勤
労者体育センターの利用者数
は延べ2万556名です。公
共施設等の統廃合等を計画的
に推進するための公共施設等
マネジメント推進計画におい
て、勤労青少年ホームは公民
館と事業内容が重複すること
から令和17年度までに機能見
直しを行い、勤労者体育セン
ターは、市立体育館に機能移
転の上、用途を変更し、令和

7年度までに移転・転用する予定です。高齢者の利用者の方々には令和17年度の機能見直しまで、勤労青少年ホームの小体育館をご利用いただくことが可能と考えています。

個人質問

(発言順に掲載)

石島 政己 議員

質問項目 ①会計年度任用職員制度②行政改革大綱③土木行政

問 市道2501号線(向野運動公園北側)および市道232号線(旧梁小南側)の拡幅整備の計画と進捗状況は、建設水道部長 市道2501号線における小山運動公園に隣接した約400メートル区間については、幅員が約3・5メートルから4メートル程度と狭い状況ですが、幅員6メートルの拡幅整備を行うため平成29年度から事業に着手しました。なお、平成29年度から30年度に測量業務や設計業務等を実施し、今年度は用地買収を予定しています。令和2年度には工事を実施し、事業完了を目指しています。市道232号線の、旧梁小学校から県道結城・二宮線までの350メートル区間につい

ては、歩道のない幅員約5メートルの道路ですが、北側へ拡幅する整備を予定しており、今年度は用地等の調査を実施していきます。

福田 幸平 議員

質問項目 ①防災行政②保健行政③移住定住促進

問 小山市では、マイ・タイムライン導入に対して、どのように考えているか。現状と考えを伺いたい。

危機監理監 マイ・タイムラインの作成および周知については、小山市も参加している鬼怒川・小貝川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会が提供する教材であるマイタイムラインノートを活用した出前講座を利用すること、さらには作成サポート人材育成認証制度であるマイタイムラインリーダー認定制度を利用する有資格者の育成を図り、防災、減災の活動を地域に根づかせていきます。

山野井 孝 議員

質問項目 ①教育行政②高齢者による交通事故防止③投票率向上対策④幼児教育・保育の無償化に向けた受け入れ拡大⑤新庁舎整備にあわせ

た

ストラン等の市民サービスの向上

問 高齢ドライバーの運転操作ミスによって起こる交通事故を防止するために、支援する考えはあるか。

市民生活部長 高齢者の運転免許保有率の上昇とともに加齢を原因とした交通事故が増加しており、自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速抑制装置などを搭載した先進安全自動車の購入者に対して補助金を交付する自治体が見受けられ、県内では日光市で、先進安全自動車を新規購入した70歳以上の方に対して補助を行う制度を開始しています。また、高齢者が現在所有している自家用車にペダル踏み間違い防止装置を装着する費用の一部を補助する自治体もあり、高齢ドライバーによる事故防止のため小山市においても今後先進地の事例を参考に制度を検討します。

大木 英憲 議員

質問項目 ①中核都市形成②土地利用構想③幼児教育・保育の無償化④私立高校誘致

問 新4号国道沿線の活性化について、テクノパーク小山南部に続く新たな工業団地の開発を大谷南部地区に検討できないか。

副市長 小山市では、新4号国道沿線に切れ目なく工業団地の開発を行うべく、鉢形地内において小山第四工業団地第2工区や出井地区の基礎調査を完了しているほか、大谷東部地区の圃場整備で創出する非農用地に工業団地を造成する計画を進めているところです。また、大谷南部地区については、市内で最も首都圏に近く、圏央道にも至近距離にあることから、テクノパーク小山南部に続く工業団地を開発するための基礎調査を行いたいと考えています。

橋本 守行 議員

質問項目 ①防火水槽や災害用拡声器塔の管理運営の状況②保健福祉行政③建設水道行政④こどもの国整備基本構想

問 信号機のない横断歩道における一時停止率が全国最下位の栃木県において、市として改善できることは。

市民生活部長 車両運転時に横断歩道で横断しようとする人や横断中の人がいても停止しないなどの行動は、横断歩行者等妨害等違反として検挙の対象となります。栃木県警察本部では、信号機のない横断歩道における一時停止率が全国最下位だったことを受けて、「とまってくれない栃木県」からの脱却を図るため、広く啓発活動に取り組んでいます。小山市においては、小警察署と連携し、交通安全運動期間中にドライバーに対し啓発用チラシを配布してい



- あなたも「議会だより」に写真を投稿してみませんか。
- 写真は「議会だより」の発行月(1月・2月・5月・8月・11月)に合わせて小山市内の季節感のあるものを募集しています。
- あて先/小山市中央町1丁目1番1号 小山市議会事務局
- 問い合わせ先: 議会事務局 ☎(22)946331 までお気軽に!

ます。今後は、小山警察署や交通安全協会などの交通安全団体との連携をさらに強化し、おーラジやテレビ小山などを活用した広報活動を展開するとともに、信号機のない横断歩道に啓発看板を設置するなど、目に見える対策も積極的に行います。

岡田 裕 議員

質問項目 ①喜沢地区雨水対策計画②市債残高③市民生活行政④投票率向上

問 投票率を上げるため、しらさぎ館・マルベリー館も投票日前日の土曜日まで期日前投票できないか。

選挙管理委員会書記長 今年

4月の統一地方選挙から、平日のみ開設していた期日前投票所のうち、投票者が多い小山市市民交流センターにおいて、市役所本庁舎同様、投票日前日の土曜日に開設し、投票環境を広げることができました。今後は、投票者が多い間々田および桑市民交流センターについても投票日前日の開設を実施し、有権者の利便性向上を図っていきます。さらに、商業施設等の期日前投票所についても設置に向け検討を進めていきます。

高橋 栄 議員

質問項目 ①民生委員の現状と負担軽減②小山市の文化財③小山市パーストリップ調査の結果

問 「見守り・支え合い活動」が、民生委員と連携・協力することで、民生委員活動の負担軽減に繋がると思うが市の考えは。

保健福祉部長 市では、深刻化する人口減少、超高齢社会を見据え自治会をはじめ地域の皆様にご協力をいただきながら、見守り・支え合い事業を推進しています。各自治会が、今年度創設した小山市見守り・支え合い推進補助金を有効に活用しながら、民生委員の方々との連携を進めることで民生委員の負担軽減につなげていただきたいと考えています。

渡邊 一郎 議員

質問項目 ①高齢者対策事業②経済行政③間々田のじゃが

問 間々田のじゃがまいた会館等の建設について伺う。

総合政策部長 毎年5月5日に行われる伝統行事である間々田のじゃがまいたは、こ

の日以外は見る事ができませんが、このたびの国の重要無形民俗文化財の指定を受け、行事の実施日以外にも多くの方々が間々田地区を訪れており、この行事をいつでも見て体験できるように施設の設置は急務であると考えています。会館等の建設については、設置場所や展示内容、運営方法など検討課題が多いことから、行政や行事の関係者を含めた検討組織を結成し、間々田のじゃがまいたの周知および地域の活性化を図れる施設とするよう取り組みます。

大平 拓史 議員

質問項目 ①産業観光政策②小山市総合都市交通体系調査の結果③教育行政

問 児童生徒の教育環境の向上と災害時の避難所として、小・中・義務教育学校の体育館にエアコンを設置しては。

教育部長 学校体育館は児童生徒が学習する場であることに加え、避難所となるものがあり、設置の必要性は十分理解していますので、今後市内各学校体育館の使用状況調査を実施し、その結果を踏まえた設置計画を作成し、順次設置していきます。

請願・陳情のしかた

市議会に対しての要望や意見を文書で提出することができます。紹介議員のあるものを請願、ないものを陳情と呼んでいます。採択となった請願・陳情については、関係機関に送付します。当市議会では、年4回の定例会(2・6・9・12月)が開催されており、原則として開会の7日前までに提出されたものを審議しますので、早い時期での提出をお願いいたします。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。(☎0285-22-9463)

『請願・陳情の提出書式例』

- ◎あて先(小山市議会議長あて)、提出日、件名、趣旨を記入してください。
◎住所、氏名を記入し、必ず押印してください。
◎請願・陳情者が多数の場合は、それぞれ記名・押印のうえ、代表者を決めてください。
◎請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要となっています。
◎用紙のサイズは、A4版で提出ください。
◎議会事務局までご持参ください。

Form with fields for '請願書(陳情書)', '令和 年 月 日', '小山市議会議長 あて', '請願書(陳情書)', '住所 TEL', '氏名 他 名', '紹介議員 氏名', and '件名', '(趣旨)', '(理由)'.

片山 照美 議員

質問項目 ①選挙制度
問 選挙管理委員会の市民への今後の啓発活動について伺う。

選挙管理委員会書記長 選挙時の啓発については、小山市

明るい選挙推進協議会の協力のもと、市内のスーパー等において啓発物を配布することにより、選挙期日の周知および投票の呼びかけを行っております。また、入居施設等における不在者投票により投票できる制度があり、現在施設に対しては、選挙時に通知をしています。加えて今後は実施していない高齢者、障がい者施設および施設職員向け施設入居者の不在者投票制度について啓発をしていきたいと考えています。

議会日誌

〔8月〕

▽2日 市執行部との定例懇談会／会派代表者会議

▽7日 議員説明会

▽9日 議会運営委員会／小山駅周辺都市整備対策特別委員会／公共

▽28日 施設等整備調査特別委員会
▽9月 議会運営委員会

▽2日 議会広報委員会
▽9日 議会運営委員会／会派代表者会議

▽11日 民生常任委員会

▽12日 教育経済常任委員会
▽13日 建設水道常任委員会
▽17日 総務常任委員会／公共施設等整備調査特別委員会／小山駅周辺都市整備対策特別委員会

▽18日 予算審査常任委員会
▽27日 決算審査特別委員会／会派代表者会議

▽17日 議会運営委員会／議会改革推進協議会／議会報告会運営委員会／会派代表者会議

▽18日 予算審査常任委員会
▽27日 決算審査特別委員会／会派代表者会議

▽17日 議会運営委員会／議会改革推進協議会／議会報告会運営委員会／会派代表者会議

▽18日 予算審査常任委員会
▽27日 決算審査特別委員会／会派代表者会議

▽17日 議会運営委員会／議会改革推進協議会／議会報告会運営委員会／会派代表者会議

インターネット中継をおこなっています

平成27年12月議会より、市議会本会議のインターネット中継をおこなっています。ぜひご覧ください。

(小山市議会ホームページからリンクしています。)
http://www.oyama-city.stream.jfit.co.jp/

次回定例会の予定

Table with 2 columns: Date and Meeting Item. Includes dates from 11/27 to 12/20 and items like '本会議(開会・議案上程)', '委員会', '本会議(採決・閉会)'.

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定しますのでご了承ください。

令和元年第4回定例会の傍聴者数
9月定例会の傍聴者数は73人でした。

Table showing attendance numbers for specific dates: 9月2日=4人, 4日=11人, 5日=28人, 6日=17人, 9日=1人, 12日=7人, 18日=1人, 27日=4人.

視察来訪

〔10月〕
▽7日 公共施設等整備調査特別委員会／議会改革推進協議会理事會

〔7月〕
▽17日 野木町議会1名〓外国人住民に対する市の対応

▽25日 秋田市議会(秋田県)3名〓地方卸売市場の民営化

▽1日 東広島市議会(広島県)7名〓コミュニケーションスクール・小中一貫教育

白岡市議会(埼玉県)3名〓認知症地域支援

〔9月〕
▽3日 野木町議会1名〓軽自動車税の課税

〔10月〕
▽2日 東松島市議会(宮城県)5名〓第3期おやまブランド創生・発信推進計画

▽4日 塩尻市議会(長野県)6名〓機能別消防団制度について

▽9日 中津市議会(大分県)8名〓スポーツ都市宣言、おやまブランド創生・発信計画

議場見学

〔10月〕
▽11日 網戸小・下生井小10名



令和という元号とともに、新しい時代が始まった。そうした中、平成30年度の人口動態調査が発表され、日本の人口は、1億2478万人余りとなり、10年連続の減少となった。

また、死亡数から出生数を差し引いた人口の自然減が40万人を超え過去最多となり、出生率も1.42と三年連続で減少しており、人口減少が加速している状況である。

なお、平均寿命は、女性が87.32歳、男性が81.25歳で、共に過去最高を更新した。これは、平成元年から30年間で、男女共に5歳余り伸びた。

要因は、医療の進歩による死亡率の低下や健康志向の高まりが主な要因とみられる。まさしく人生100年時代の到来である。(渡邊一郎)